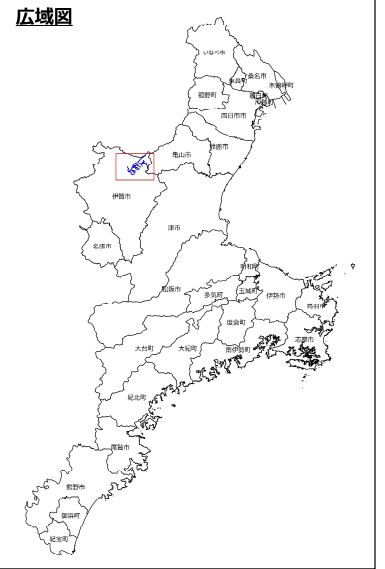
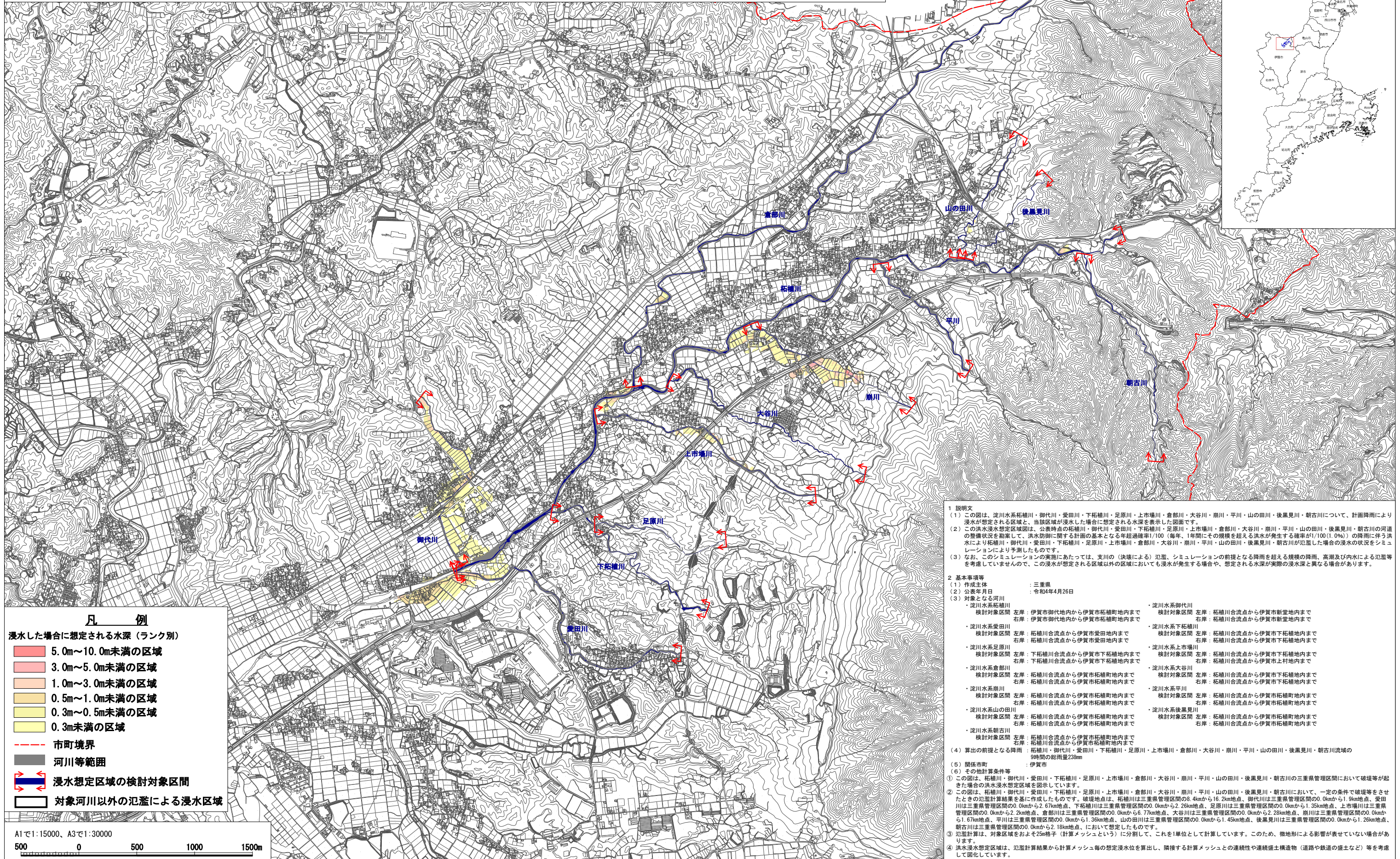


# 淀川水系柘植川・愛田川・御代川・下柘植川・足原川・上市場川・倉部川・大谷川・崩川・平川・山の田川・後黒見川・朝古川 洪水浸水想定区域図(計画規模)



**1 説明文**  
 (1) この図は、淀川水系柘植川・御代川・愛田川・下柘植川・足原川・上市場川・倉部川・大谷川・崩川・平川・山の田川・後黒見川・朝古川について、計画降雨により洪水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。  
 (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の柘植川・御代川・愛田川・下柘植川・足原川・上市場川・倉部川・大谷川・崩川・平川・山の田川・後黒見川・朝古川の河道の整備状況を勘案して、洪水防制に関する計画の基本となる年超過降雨1/100(1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%)の降雨に等しい洪水により柘植川・御代川・愛田川・下柘植川・足原川・上市場川・倉部川・大谷川・崩川・平川・山の田川・後黒見川・朝古川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。  
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(法堤による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

**2 基本事項等**  
 (1) 作成主体 : 三重県  
 (2) 公表年月日 : 令和4年4月26日  
 (3) 対象となる河川  
 ・淀川水系柘植川  
 ・淀川水系愛田川  
 ・淀川水系足原川  
 ・淀川水系倉部川  
 ・淀川水系崩川  
 ・淀川水系山の田川  
 ・淀川水系朝古川  
 ・淀川水系御代川  
 ・淀川水系下柘植川  
 ・淀川水系上市場川  
 ・淀川水系大谷川  
 ・淀川水系平川  
 ・淀川水系後黒見川

(4) 算出の前提となる降雨 : 柘植川・御代川・愛田川・下柘植川・足原川・上市場川・倉部川・大谷川・崩川・平川・山の田川・後黒見川・朝古川流域の99年間の総雨量238mm  
 (5) 関係市町 : 伊賀市  
 (6) その他計算条件等

① この図は、柘植川・御代川・愛田川・下柘植川・足原川・上市場川・倉部川・大谷川・崩川・平川・山の田川・後黒見川・朝古川の三重県管理区間において破壊等が起きた場合の洪水浸水想定区域を図示しています。  
 ② この図は、柘植川・御代川・愛田川・下柘植川・足原川・上市場川・倉部川・大谷川・崩川・平川・山の田川・後黒見川・朝古川において、一定の条件下で破壊等させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。破壊地点は、柘植川は三重県管理区間の8.4kmから16.2km地点、御代川は三重県管理区間の0.0kmから1.9km地点、愛田川は三重県管理区間の0.0kmから2.67km地点、下柘植川は三重県管理区間の0.0kmから2.26km地点、足原川は三重県管理区間の0.0kmから1.35km地点、上市場川は三重県管理区間の0.0kmから2.2km地点、倉部川は三重県管理区間の0.0kmから6.77km地点、大谷川は三重県管理区間の0.0kmから2.28km地点、崩川は三重県管理区間の0.0kmから1.67km地点、平川は三重県管理区間の0.0kmから2.18km地点、山の田川は三重県管理区間の0.0kmから1.45km地点、後黒見川は三重県管理区間の0.0kmから1.26km地点、朝古川は三重県管理区間の0.0kmから2.18km地点、において想定したものです。  
 ③ 氾濫計算は、対象区域をおよそ25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。  
 ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。

A1で1:15000、A3で1:30000  
 500 0 500 1000 1500m